

加茂郡・可児郡町村会と中部地方整備局との意見交換会

平成24年8月17日(金)16時より八百津町役場防災センターで岐阜県加茂郡・可児郡町村会と中部地方整備局は、「近年の自然災害発生の傾向とその対策」について意見交換を行いました。

足立地整局長から大規模災害に対する備えの必要性について、五十嵐河川部長から中部地方整備局が保有する災害対策機械についての情報提供を行い、町村会の8町村長・美濃加茂市長と地域事情を踏まえた防災に関する意見交換を行いました。

市町村長からは、昭和58年9月の豪雨災害や平成6年の大湯水被害の経験を踏まえた治水、利水対策の向上に向けた事業促進の強い声がありました。



情報提供される足立中部地整局長
(写真左:五十嵐河川部長)



安江東白川村長
町村会長の開会挨拶



渡辺美濃加茂市長
S58災害と同等の出水でも被害が生じないように新丸山ダムの早期着工完成を望む



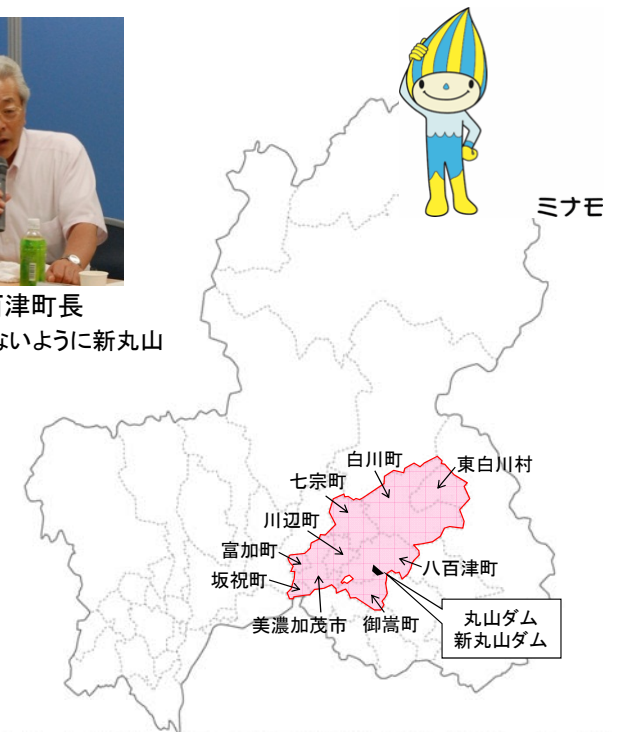
赤塚八百津町長



今井白川町長
防災拠点である道の駅の機能向上に協力を



南山坂祝町長
湯水に弱い中濃のために、木曾川水系連絡導水路が必要



加茂郡・可児郡町村長による丸山ダム視察

加茂郡・可児郡町村長による丸山ダムの管理の状況について、ダム堤体内、ゲート放流設備及びダム湖の視察を行いました。

【参加者】

御嵩町長、坂祝町長、富加町長、川辺町長、七宗町長、八百津町長、白川町長、東白川村長
岐阜県中濃振興局長



ダム天端における放流設備の説明



巡視船に乗船してダム湖内を視察



ダム堤体内で建設当時の設計図によるダム構造の説明



視察に参加の加茂郡・可児郡町村長